

## 小学校の統合に関する説明会

日 時：平成31年1月26日（土）14:00～15:50

場 所：伊奈公民館

出席数：146名



### ■ ご質問・ご意見一覧

市 民 1 複式学級の解消に関して、学校統合しか道はないのでしょうか？また統合に対して、児童や保護者、卒業した地域住民の意見は取り入れているのですか？

市 教育委員会としましては、現計画（平成28年3月策定）の時から、三島小学校と谷井田小学校、東小学校と板橋小学校について、統合させていただきたいということで、これまで説明会を開催したりPTA代表者の方々と意見交換会をしてきたところでございます。

今回の統合については、子ども達の教育環境を最優先に考え、行政判断ということで、この計画案を作成させていただきました。

市 民 1 反対意見も当然あると思いますが、それについてはどのような対処されたのでしょうか？また、どうやって納得してもらったのでしょうか？

市 当然説明会でも反対意見はありました。また、その中には、やはり統合を進めて欲しいというご意見もございました。私どもとしては、反対意見もございましたが、子ども達のことを最優先に考え、統合というかたちを選んだところでございます。

市 民 2 現在東小学校は39名しか在籍しておらず、複式学級が発生しており、今までで一番少ない生徒数です。しかし、4月から10人前後児童が入学してきますし、あと何年か経てば複式学級がなくなる見通しがあります。

また、東小学校の場合は、地域に根差した学校であり、PTAだけではなく、昔から地域の皆が学校教育に関心を持って児童を見守り、いつでも協力できる体制を構築してきたところですので。そして、少数ではありますが、上級生が下級生の面倒をみて、6年間でお互いに成長していくという独特の文化がありました。

これから高齢化が進んで人口も減っていく中で、更に学校が閉校となると、地域のダメージは本当に大きいと思いますが、地域の方々にちゃんと理解してもらったのでしょうか？まだ十分説明の余地があるのではないのでしょうか？児童やPTAだけではなく、地域の人達の理解も非常に大事だと思います。

市 東小学校につきましては、当然三島小学校につきましても、地域の皆さまに支えられて学校運営を行っており、教育委員会として皆さまに非常に感謝しているところです。

しかしながら、東小学校につきましては、現在2学級が複式学級になっております。将来的に平成36年には3学級が複式学級になるという予想です。児童数についても、平成39年頃には、30人を下回ってくるような推計をしております。また、三島小学校につきましても、現在1学級が複式学級ですが、平成34・35年頃には2学級が複式学級になってしまうと推計しております。このようなこともあり、地域の皆さまには様々なご意見もあろうかと思いますが、子ども達のことを最優先に考えて、今回、統合という結論に至ったところです。

また、市民も皆さま方には学校運営に対しまして、非常に暖かいご支援ご協力をいただいております。この件につきましては、新しい学校でも引き続きその良さというものを引き継いでいただきまして、皆さまのご協力を受けながら学校運営をしていきたいと考えております。

市 民 3 対等な立場と対等な条件で統合するという説明でしたが、板橋小学校をそのまま使って、東小学校の児童が板橋小学校へ通学するということでは対等ではないと思います。対等な立場というのは東小学校と板橋小学校の中間地点くらいに新設校を造って統合するということではないのでしょうか？

子ども達が最優先だという説明が何回もありましたが、ただ児童数の多い学校に少ない児童数の学校を吸収するようになると、小さい学校から来た児童は必ずよそ者扱いみたいになるのではないですか？そして、必ず弱い人がいじめられ、いじめが原因で不登校になり、そのいじめられた人が世の中から置いていかれてしまう。それだったら複式学級のままでも、社会に通用するような人間を育てたほうが私はいいと思います。現在、いじめや不登校の問題がテレビ等で多く出てきている中で、もし統合が原因でいじめが起こってしまった場合に、どのように対応し、どういう責任をとるのでしょうか？

市

対等ではないというご質問についてですが、先ほどの説明の中で「市町村合併のように対等に～」というお話をさせていただきました。当市が誕生する時、旧伊奈町・旧谷和原村が対等な立場で合併しました。その際も、中間地点に新しい庁舎を建てずに、伊奈庁舎と谷和原庁舎のまま、なおかつ、市の名称についても改めて決めたということもございました。先ほどご説明させていただきましたが、今後統合準備委員会の中で、新しい学校名や新しい校歌等を検討し、新しい学校として進めていきたいと考えております。

いじめについては、文部科学省のほうからいじめの認知件数ということで、報道がされているかと思えます。いじめ防止の基本方針ができてから、いじめに対する認知というものがだいぶ変わってきました。認知件数も相当増えていると思えます。実際、つくばみらい市でもいじめがゼロということではありません。当然いじめは駄目ですが、我々としては、いじめがあった場合、その子や周りの大人達がどのようにサポートし、どのように解決していくかを考えていくことも、非常に大切であると考えています。ですので、子ども達が「自分は何が嫌だったのか?」、「相手にどうしてもらえればよいのか?」、それから我々大人は保護者や子ども達に対して、どういったサポートをすればよいのかという部分については手厚くやっていきたいと考えております。

学力に関してですが、2020年から小学校のほうで、新学習指導要領が実施になります。ここで謳われているのが、主体的・対話的で深い学びをしてもらいたいという内容です。主体的というのは自分から進んでやるような授業を展開しましょう、また、対話的というのは自分だけではなく友達の見考えを聞きながら広めたり深めたり、あるいは友達の見考えを聞いて再構築するような授業を進めましょう、そういった中で、もっと深く考える、あるいは他の考えがないのかというような授業を展開するよう文部科学省が示しています。

少人数の授業ではそういった意見が出にくく、実際、学校現場でも一つの意見が出てそれで完結してしまうという話もあります。そうではなく、色んな意見や多様な考えがある中で、どうやって折り合いをつけ、どのようにまとめていくか、こういったことを大事にしていきたいという観点から適正配置は必要だと考えております。

小さい学校も、先生が児童に十分に手をかけられ、一人一人をしっかり見ることができるといったメリットもあると思えますが、これからの世の中、コミュニケーション能力や、自分をコントロールする力、周りとの協働していくというような力が必要になると考えていますので、そういったところを教育委員会としても学校の先生方と話をしながら、より良い学校を目指していきたいと考えております。

市 民 4 以前から三島小学校と谷井田小学校、板橋小学校と東小学校が統合するという審議がなされてきたと思うのですが、三島小学校に関しては谷井田小学校と統合しても、中学校進学で三島小学校の一部の学区が伊奈中学校と伊奈東中学校に分かれるという状況です。今の学区としては、そうになってしまうと思うのですが、伊奈東中学校に関しては人数が減ってきており、片や伊奈中学校は増えている状況で、人数の比率も考えときに、三島小学校と東小学校と板橋小学校の3校が統合して、三島小学校も伊奈東中学校に通学するというような考えは、審議会のほうで出ていたのでしょうか？今後、中学校も含めた検討といった部分で、これがひとつの案となるものなのか、それともそれは不都合があつて却下となり、今回の三島小学校と谷井田小学校、東小学校と板橋小学校の統合という進め方になったのでしょうか？

市 審議会における審議内容について、ご説明させていただきます。まず、複式学級の解消というのは喫緊の課題であり、すぐに改善しなければ子ども達にとって良くないということで、審議会のなかでご審議いただいて、一次答申をいただいたところが大前提でございます。

三島小学校については、資料8ページのところで、三島小学校の学区の中で、伊奈中学校と伊奈東中学校に分かれている将来推計を出させていただいております。その中で、伊奈中学校区通学予定の児童数が多いという要因がございまして、中学校進学を見据えた時に、谷井田小学校と三島小学校の統合が望ましいと考えております。ただし、人数が多いからそれで良いということではなく、これについては現在学校に通っている児童やこれから通うであろうお子さん達がいらっしゃいますので、学区については行政側から「伊奈東中学校区だから板橋へ」というような乱暴なやり方を提示するよりも、全体計画の中では三島小学校は谷井田小学校と統合としておりますが、その中学校区については、小学校と中学校が同じ学区として、スムーズに進学できるよう、一緒にお話をしながら決めていくべきであろうと考えております。

市 民 5 以前テレビ放送で、東北の小さい町の小学校が学力全国トップクラスという紹介がされていたのですが、その学校は複式学級でした。10人くらいの子ども達に対して、教員数が2人しかおりませんが、かなり多様な教育をされていて、すごく生き生きしている風景があったので、こういう学校もあるのだなと思ひ見えました。そんなことを思い出しながら、今日の説明を聞き、5ページの3「望ましい教育環境を創っていくために」の「複式学級の教育上の課題」でいくつか気になったところがあります。「授業で多用な発言が引き出しにくく」や「教育活動の幅が狭い」、「習熟度別指導など多様な指導方法の制限」というようなところは複式学級による問題ではなく、教育者の力量の問題ではないのかなと少し感じまし

た。ここに書いてあるようなことは、複式学級を解消すべき本質ではないのではないかと疑問に思ったので、ご回答を宜しくお願いします。

市 東小学校には東小学校の良さがあると思っていますし、現在の東小学校の子ども達の様子を見ますと、非常にいきいきと、それから先生達との関係も良好な中で学習が行われていると十分感じております。ただ、先ほど申しましたように、より多様な意見、様々な体験といったところを大事にしていきたいというような文部科学省の考えもあります。

教育委員会としましては、平成 32 年の統合に向けてこういう授業をやっていきたいというような、予算付けをしております。東小学校の子ども達が板橋小学校と統合した時に、気後れしてしまうのではないかとといった課題もあると思いますので、子ども達や保護者がお互い仲良くなって、複式学級ではない学校の良さを実感していただきたいと思っています。

市 民 6 資料の 8 ページで、「三島学校の伊奈中通学予定児童数が多く、伊奈東中の予定児童数が少ない」となっていますが、私は住所が南太田なので、伊奈中学校よりも伊奈東中学校のほうが全然近いです。少人数の地区になるので、今回、計画案にこの表を載せていただいたことは本当にありがたいと思っています。三島小学校の統合先を谷井田小学校だけにするのではなく、三島小学校区の南太田や戸崎のほうは伊奈東中学校に通学するほうが近いですので、中学校通学を考えて板橋小学校への統合も選択肢に入れて欲しいと思います。やはり、小学校で出来た友達のほうが中学校に繋がっていくと思います。

市 私どももそのようなことも考えております。義務教育という 9 年間を見通した際、伊奈東中学校に通学する三島小学校の児童生徒については、板橋小学校と東小学校が統合する新しい学校で、最初から一緒に学ぶといったことも当然考えられますので、そこにつきましては、これから対象校の保護者の方々と一緒に相談していきたいと思っています。

市 民 7 いくつか不明瞭な点がありますので、質問させていただきます。

まず 1 点目は、第一次答申の出た背景や、どういった統計データをとって答申が挙がったのかということところです。複式学級の早期解決というのはおそらく答申から出た内容だと思っておりますので、その内容についてどういうデータを基に、解消という結論に至ったのか、どういう根拠があって、この答申が出たのかを教えてくださいたいと思います。

2点目として、今後、別の小中学校で複式学級が発生した場合、今回と同じように必ず統合されていくのかを、ご返答をいただければと思います。

市           まず1点目の背景ということについて、文部科学省の方針があったということもございます。また、市として平成27年度につくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画を策定しました。この計画につきまして、説明の冒頭で背景というかたちでご説明させていただきましたが、市民の皆さまのご理解をいただいております。統合について進めていけなかったということもございました。今回、市の人口推計や教育内容なども加味し、また適正規模というのはどのような規模が正しいのかという文部科学省の指針なども踏まえまして、行政側の判断として、統合するという方針に至った経緯でございます。

              また、昨年アンケートをとった中でも、複式学級については統合すべきであろうというご意見や、一つの学年の児童生徒数が何人以下になったら学校の統合が必要だと思いますかという問いの中では、34%の方が10人以下となった場合は統合すべきであろうという…

市 民   7   話の途中で申し訳ないのですが、アンケートというのは誰を対象に、どういう統計データをとって、教育委員会が判断したというかたちになっているのですか？そこを明確に地域住民や保護者の方に説明しないと、何もわかりません。ただ単に、「こういう意見が挙がってきたので、そうしましょう」と言われても、地域住民が納得するのは難しいのではないかと思います。

市           このアンケートについては、昨年7月25日から9月2日までを期間として、市の広報と一緒に各家庭に配布させていただきました。回収方法につきましては、市内のコンビニエンスストアや公共施設に回収箱を設置しました。回答内容につきましては、その後の市の広報紙でお知らせしたところでございます。詳しい内容につきましては、市のホームページをご覧いただければというところですが、先ほど申し上げましたとおり、10人以下の場合は統合したほうが良いという回答のほうをホームページでは載せさせていただいております。

              今後の少人数の学校への対応というところですが、今回の計画につきましては、現在複式学級が発生している学校の部分となっております。今後の児童数の推移等を踏まえまして、現在審議会のほうで検討しているという状況でございますので、その審議結果につきましては、概ね今年夏までには出るのではと考えております。審議のほうがまとまりましたら、改めましてこのような説明会を設けさせていただきたいと考えておりますので、その中で、改めて今後の少人数の学校への対応につきましては、ご説明をさせていただきたいと考えてございます。

市 民 7 集計データについては、回収率は何パーセントですか？

市 配布数につきましては、全戸配布というかたちで19,459票です。回収数については232票で、回収率につきましては1.19%でございます。

市 民 7 ということは1.19%の中から、この一次答申が出たということによろしいですか？

市 このアンケート結果につきましては、昨年も説明会を開催させていただいて、審議会へ集計結果の報告をさせていただいたところでございます。また、審議会では今回のアンケート結果の他にも、過去のアンケート結果や国の指針なども踏まえながら、当市においてどうあるべきなのかについて、慎重なご審議をさせていただいております。その中で今回、「複式学級が既に発生している学校の教育環境については、全体計画の策定とは別に早急に改善すべきである」という一次答申をいただいたところでございます。

その一次答申を受けまして、教育委員会として、やはり複式学級で学ぶ子ども達の教育環境を早急に解消すべきであると判断をしたため、今回計画案というものを作成しまして、皆さまにお示しをさせていただいているというものでございます。

市 民 7 複式学級の早期解消は審議委員の中から、一次答申を出したということによろしいですか？ということは、アンケートと審議会の一時答申というのはイコールで結ばれないということですね？何を目的としたアンケートなのでしょう？

市 アンケートの目的は、審議会及び市が検討し判断するにあたっての参考資料ということでとらさせていただきました。アンケート結果につきましては、審議会に提示させていただき、それを踏まえた検討ということでございます。そして、最終的には市が決断するというものです。

市 民 8 質問ではなく提案と意見を1点ずつさせていただきますが、いずれも10ページの5番に関することになります。

複式学級解消を進める上での配慮事項というところで、例えば東小学校と板橋小学校であったら、交流会のほうは統合後に使う学校だけじゃなくて、廃校になる予定の東小学校にも、ぜひ板橋小学校の子ども達に見ていただきたいと思っています。相互の環境に子ども達が触れられる内容となるようにぜひご検討をお願いします。子ども達がお互い育った環境を理解しあった上で統合したほうが、子どものストレスが軽減されると思いますし、先ほどの「対等な立場での統合」ということにも繋がるのではないかという点と、別の方の質問でいじめのお話もあ

ったと思うのですが、お互いの環境を知るといことがいじめ発生の抑制にも効果があると思いますので、こちらをぜひお願いしたいと思います。

あと5番の(1)の遠距離通学に関する配慮ということで、2020年4月に統合を本気で目指しているなら、正直動きが遅すぎるのかなと私は個人的に感じます。例えば、新しい学校名や校歌、体操服、バスルートの設定など、色々細かいこと挙げると諸々のアクションアイテムや課題が山積していて、それに対する日程があるのかもしれないですが、提示されていないので、伝わってきません。残り16ヶ月を切ってもそのスケジュールが出てこない、保護者の皆さんも、さすがに不安になると思います。統合から逆算してスピード感をもって実施していただきたいという意見になります。

市 民 9 私の方からは提案です。複式学級や小規模校の何が問題なのかを、もう一度事務局の方で整理をして明確にさせていただきたいと思います。我々が検討するときに足並みを揃える意味で、相互理解していくことが必要なのかなと、今日の質疑応答を聞いておまして、そのような印象を受けました。

市 民 10 何点かお聞きしたいのですが、資料10ページ5(1)複式学級解消を進める上での配慮事項、スクールバスの通学支援についてです。米印でつくばみらい市遠距離通学費補助金交付要綱とありますが、当然無料ですよ？また、統合しない学校で通学距離が3キロ以上のところに関しては、スクールバスは出さないというお話なのでしょうか？

あと、学校名・校歌・校章等も変えるというお話がありました。谷井田小学校は学校自体も老朽化していたり、設備的に不足している状況です。そういった中で、校歌・校章等を変えていく費用があるのであれば、まず最初に設備等を充実していただいた上で、学校名等の作成等に移っていただきたいと思います。

最後の質問ですが、今回、谷井田小学校と三島小学校が統合するというお話で進んでいると思いますが、一部では豊小学校がもしかしたら統合になるかもしれないという噂も出ております。今回の説明では対等で統合するという事だったので、もしそうであれば、豊小学校が統合となった場合も学校名を変えるということになるのかと思いますが、それは予算が無駄ではないかなと感じております。どうなるかわからない中の勝手な話で申し訳ないのですが、その辺りを踏まえた上での方針であるのかの確認をお願いします。



市            まずスクールバスの費用の件ですが、まだ決定していないところが正直なところでは。なぜかと言いますと、他の学校で3キロ以上の遠距離通学している方がいらっしゃる。そういった状況を踏まえ、しっかり整理した上で決定し、スクールバスの費用については無料もしくは有料のご説明させていただきたいと思っております。

              豊小学校の統合の件ですが、現計画（平成28年3月策定）では三校（豊小学校・三島小学校・谷井田小学校）の統合という計画でした。今回は複式学級の早期解消ということで、まずは三島小学校と谷井田小学校の統合とさせていただきました。現在、審議会では小中学校の適正配置ということで、全体計画について、ご審議いただいているところがございますので、この豊小学校の件につきましては、まだ方針が決定しておりません。豊小学校を含む全体計画が決まってくるのが今年の4～6月頃になってくるということですので、現時点でのお答えは差し控えさせていただきたいと思っております。

              谷井田小学校の設備の件ですが、先ほどの説明でも、施設のほうはしっかりと取り組んでいきたいと発言させていただきました。それにつきましては、今後統合準備委員会の中で、皆さんと話し合いながら充実するよう図っていきたくと思っております。

市 民 1 0     スクールバスは市の都合で統合するのに、有料化をお考えということでよろしいですか？

市            おっしゃるように市の都合での統合ということは否定するものではございません。そのため、保護者の方々へのご負担は最小限になるように努めてまいりたいと思っております。

              現在、市の遠距離通学の補助内容が、「公共バスを利用して通学距離が3キロ以上ある児童の保護者に対して、定期代の三分の一を補助する」というものです。現に、公共交通を使って通学し補助を受けている子ども達との整合性をしっかりと図っていく必要があることから、そのことも踏まえた上で、検討しなければならないと考えております。できるだけご負担がないようにと考えておりますが、今明確なお答えができませんので、最小限となるよう努めるということで何とかご理解をお願いできればと思っております。

市 民 1 1     今回の複式学級を解消して、一度子ども達の見え方で考える必要があると思っております。どういうことかという、統合にあたって一番不安になるのは子ども達です。先ほど、いじめや不登校の問題が出た時に、誰が責任をとるのだと厳しい意見がありましたが、子ども達の不安を解消することを考えなければいけないと思いま

す。

また、仮に統合によっていじめが発生した時に、一番真っ先に矢面に立つのは先生です。その点について、バックアップする部署等があると思うのですが、教育委員会が全て行うわけにはいかないと思いますので、第三者委員会を設置して、専門的にいじめや不登校の問題に対して、バックアップするようなことをやるべきではないかと思います。将来、他の市町村で同じ問題が起きた時に、つくばみらい市では1件も事故や事件を出さなかったというような誇れる取り組みをしていただきたいと思います。

市 いじめについては、ご質問いただきましたように、つくばみらい市では一人も出さなかったと誇れるように全力で取り組んでいきたいと思っておりますし、先ほどの第三者委員会ですが、つくばみらい市も設置をする予定でおります。人選まで始まっておりますので、そこまでいかにように、学校と教育委員会がタイアップしてやっていきたいと思っております。

市民 1 2 スクールバスの費用についても、これから検討していくという話かと思っておりますが、遠距離通学の補助の基準は3キロ以上と書いてあります。私は豊小学校区で、今回は統合しないような話になっていましたが、私の家が谷井田小学校まで2.8キロです。その場合は補助の対象から外れてしまいますか？

また、資料には通学に対しての危険個所の解消とありますが、途中から豊小学校が統合されることを考えると、通学に関する危険個所の洗い出しは、今現在でどれくらい終わっていますか？終わっていないのであれば、それはいつまでにどのような方法で危険個所を洗い出しするのかをお聞きしたいです。

市 まずスクールバスの3キロという部分につきましては、ひとつの基準ということで捉えております。と申しますのも、例えば、バスルートによって3キロ以内であっても途中から乗ることが可能な児童もいるかと思っております。それについては乗車を認めるということも考えられますので、今後統合準備委員会の中で、地域の皆さまや保護者の方々とどうあるべきなのかという検討をしていきたいと考えています。また、その検討の中では、バスに乗るという安全確保のメリットはございますが、バスに乗車することで、子ども達の体力低下ということも危惧されるという考え方もございますので、そのあたりもしっかりと課題として捉えながら一緒に考えていきたいと考えております。

もうひとつ、通学路の危険個所の洗い出しという点ですが、こちらにつきましては統合する学校の組み合わせによって、スクールバスを通すのかどうか、また、どこをバス停にするかによって、そのルートによって危険個所が変わってくると捉えています。そのため、バスルートがしっかりと決まった後に、子ども達がバ

スに乗車するかしないかの検討があり、そして、自宅からバス停または学校までの通学路といったあたりについてを、一緒に考えながら検討していく部分かと考えております。

危険個所が洗い出された後、教育委員会としてどうしていくのかという部分についてですが、現在も通学路安全推進会議というものがございます。この会議は、教育委員会、校長会代表、PTA 連絡協議会会長、警察、土浦土木事務所、市の建設課、安心安全課等からなる組織で、交通そして防犯に関して、危険個所がないか、その対策はどうあるべきかを検討している会議ですので、そういった中で一緒に考えていきいという風に考えてございます。

市民 1 3 学校の規模に関して、7 ページの過小規模校から大規模校の分類ですが、1985 年の文部科学省からの資料の引用になっています。文部科学省はそれ以降、教育的観点から望ましい学校規模についての結論が出ていないようです。また、WHO は「100 人を上回らない小規模のほうが教育的効果が高い」としています。

極端なことをいうと、国の方針が適正規模であれば補助金を出すことで、財政を重視しているのでしょうか？もしくは、子ども達の教育環境をメインにきちんと考えて学校規模や適正配置を組み立てているのかをお伺いしたいです。

市 文部科学省では平成 27 年 1 月 27 日付で、公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きというものをしています。その中で、小中学校ともに 12 学級以上 18 学級以下が標準というかたちの指針が示されています。それを基本といたしまして、複式学級の発生している学校につきましては、教育上の観点から今回、統合するということをご説明させていただいております。財政や補助金がどうということではございません。

司 会 他にご意見やご質問はございますでしょうか？ないようであればこれでご意見ご質問を終えさせていただきたいと思っております。

## ■ ご意見シートでいただいた内容

No	内容
1	過小規模校の今後についても、市の考えを教えてください。
2	体操服等を検討する時は、話を聞かせていただけると大変ありがたいです。今までの体操服はどうなるのか。
3	<p>説明会に参加させていただいた他、計画案も拝見させていただきました。</p> <p>今回の計画に盛り込まれている「複式学級の早期解消」は、学校運営上の要領の変更に伴って出てきたものであり、現状把握・評価から出てきた課題ではないのではないのか？というのが第一印象です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や子ども達にとって、「複式学級の解消」が、本当に望まれた解決方法なのか？</li> <li>・指針や要領に当てはまらない「つくばみらい市式」の教育をつくることは、許されないことなのか？（実例はあるのか？）</li> <li>・「複式学級のデメリット」があるのであれば、統廃合以外に解決する術はないのか？また、その方向性を検討したのか？</li> </ul> <p>今回の指針決定に至った思考のプロセスと、客観的な根拠がもっと見えるようになっていただくと幸いです。様々な可能性を考えた上での最終手段としての統廃合でなければ、皆さん納得しないと思います。</p>
4	各小学校・中学校のPTA規模での説明会や意見交換会の実施を、なるべく早く行うことが大切かと思えます。
5	<p>そもそも子どもがいれば（子育て世代が住んでいれば）解消</p> <p>→調整区域だから家が建てられない（子育て世代が集まらない）</p> <p>→新しく建てられる制度になれば良いなと思いました。早期改善にはなりません。</p>
6	お互いの学校の交流がベストと感じた。
7	他の方から意見があった件で、谷井田と三島が先に統合し、後から豊小も統合となるなら、何回も学校名や校歌が変わるのか？その都度変更となると費用がかかるし、子ども達も戸惑うのでは？
8	事務局の方のお一人の質疑応答の回答の際、とても早口で聞き取りにくかったです。質問の内容をあまり理解されていないような、市民と敵対されているような印象を受け

	<p>ました。対立しているわけではないので、そんなに急いで回答しようとしなくても、ゆっくりで良いので誠意をもって回答頂きたかったです。「子ども達のことを考え・最優先に・一番に考え」を多用されていたのが、逆に印象を悪くしてしまったような気がします。</p>
9	<p>親として不安も多くあると思われるが、統合に期待している親も多くいると思われた。市の計画どおり進める事が、子ども達にとり教育効果があると思います。</p>
10	<p>決まっていなければ説明会に〇〇小と〇〇小の合併についてと記載してもらいたい。取手の高井小学校出身なのですが、児童数は増加しています。市も市民の誘致を小規模な地域に目を向けて頂けないでしょうか。大病院や大型スーパーなどがなく、また、みらい平の発展にしか目が向いていないようですが。</p>
11	<p>伊奈東中学校区に関しては、学園義務教育学校（つくば市他）のような小中一貫校に倣って、新しい義務教育学校を設立する、あるいはコミュニティスクール（牛久市など）の形にすれば、あまり転轍を生まないで済むのではないかと思います。</p>
12	<p>事前交流会は統合後に使う小学校と廃校になる学校、「相互の環境」に子ども達が触れられる内容となるよう検討願う。子ども達がお互いに育った環境を理解した上で、統合した方が、子どものストレスが軽減されるし、「対等な立場」での統合になると思う。いじめの発生も抑制する効果があると思う。</p> <p>スクールバスやそれ以外のインフラ整備などもそうだが、2020年4月に統合を目指しているとしたら、動きが遅すぎると感じる。新しい学校の名前、校歌、体操服、バスルートなど、諸々のアクションアイテム・課題に対して日程付きの計画が出てこない。ゴール（目標達成の姿）から逆算して、スピード感をもって実施して頂きたい。残り16ヶ月を切ってもそのスケジュールが出ないと、統合を望む保護者も不安になる。市役所の方々も様々な業務があり、忙しいとは思いますがよろしく願います。</p>
13	<p>複式学級の解消による課題を表に載せて頂きありがとうございます。私は三島小学校区の伊奈東中通学予定なので、三島小学校全員が伊奈中通学予定ではないという事を分かってくれる人もいます。三島小学校の統合先を谷井田小学校一本にするのではなく、板橋小学校も選択肢に入れてほしいです。伊奈東中通学予定なので、子どものためにも同じ学区の友達をつかって伊奈東中に通わせたいです。</p>
14	<p>過小規模校（5校）に関してはどこまで話が進んでいるのでしょうか。全く白紙なのでしょうか。例えば、小張小に関しては平成34年に統合すると以前言われていました。現在それはどのようなになっているのでしょうか。</p>
15	<p>複式学級の教育上の課題は疑問があります。学校、教師、PTA、行政の努力で解決できるのでは？複式学級の悪いところだけでなく良いところ、少人数だから出来る事、少数であることで身につくことなど他の学校では体験できないことが多数あるのでは。少数</p>

である事をマイナスでなくプラスにしていくことも教育の一つの方法ではないのか。学校のある地域性、環境・歴史を考慮し少数・過小規模校であっても地域・近隣学校の協力があれば大規模校と遜色ない教育を受ける事は可能なのではないのか。何より近くに学校がないところに新しい住民が来るでしょうか。まだまだつくばみらい市には開発をすれば住宅地に出来るところはたくさんあります。特に東地区は藤代・牛久駅に近く、道路の整備が整えば魅力的な住宅地にあるでしょう。新しく住居を構える人達が、わざわざ学校のない地区に新居を建てるでしょうか。長い先のつくばみらい市の発展を考えたら学校を残し維持してつくばみらい市の魅力の一部として、アピールした方がつくばみらい市の発展・繁栄のきっかけになるのではないのでしょうか。今、学校のと配合をすればみらい平地区の一極化を加速させ既存地区の過疎化も更に悪化・延長させる結果になるのは確実でしょう。今、安易に管理がしやすい、経費がかかる、国の方針だからといって統廃合を進めれば市の大部分での加速化高齢化という問題が出るでしょう。

教育施設適正配置とは学校のある地区千吉良の現状だけでなくこの先の発展まで見越した環境・地域性を考慮した上で、適正か否かを判断するべきではないのか。

1月26日のつくばみらい市の説明会では、子どものための適正配置という模範解答が返ってくるだけで、子ども達の未来まで見越した計画性があるのか判断なのか疑問が残りました。

もう一度、子ども達のつくばみらい市の先の発展繁栄が出来るような計画適正配置案を審議していただきたい。

以上